

# 令和元年度岩手県工業用水道事業会計決算概要

岩手県企業局

- 工業用水供給量は、実使用水量は増となったが、ユーザー企業の使用廃止に伴う基本使用水量の減により、**料金収入は、前年度比4.6%減の7億9千5百万円余**となった。
- **経常収益**は、料金収入が減となったことにより**前年度比4.5%減の8億6千9百万円余**となり、**経常費用**は、修繕費の減等により**前年度比0.1%減の8億5百万円余**となった。
- この結果、**経常利益、純利益は、前年度比38.4%減の6千4百万円余**となった。

## 令和元年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B)/B
経常収益		869,626	910,896	△ 41,270	△ 4.5%
経常費用		805,141	806,251	△ 1,110	△ 0.1%
<b>経常利益</b>		<b>64,485</b>	<b>104,645</b>	<b>△ 40,160</b>	<b>△ 38.4%</b>
特別利益		0	0	0	—
特別損失		0	0	0	—
<b>純利益</b>		<b>64,485</b>	<b>104,645</b>	<b>△ 40,160</b>	<b>△ 38.4%</b>

## 1 工業用水の供給状況

実使用水量は増となったが、ユーザー企業の使用廃止に伴い基本使用水量は減となった。

(単位：千m<sup>3</sup>/年)

区分	年度	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	比較		備考
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B)/B	
基本使用水量		13,244	14,182	△938	△66%	ユーザー企業の使用廃止に伴う基本使用水量の減
実使用水量		7,293	7,235	58	0.8%	使用実績による実使用水量の増
うち 超過水量		43	41	2	6.3%	

※ 供給先：北上工業団地、岩手中部工業団地に立地している19事業所

※ 増減率は、原数値で計算しているため、表中の数値による計算値とは必ずしも一致しない。

<1m<sup>3</sup>当たりの給水単価> (平成23年4月1日から) (税抜)

料金種別	工業用水料金の額	超過料金の額※
基本使用水量 (基本料金)	42円	35円
使用水量 (使用料金)	3円	3円
超過水量 (超過料金)	90円	—

※超過水使用の場合は、工業用水料金に加算

## 2 経常収益の状況

基本使用水量の減により料金収入が減 (△38,675千円) となったことにより、前年度比41,270千円 (4.5%) 減の869,626千円となった。

## 3 経常費用の状況

修繕費や減価償却費の減等により、前年度比1,110千円 (0.1%) 減の805,141千円となった。

## 4 経常利益、純利益の状況

以上の結果、経常利益、純利益は、前年度比40,160千円 (38.4%) 減の64,485千円となった。

なお、経常利益の経営目標に対する実績は次のとおりとなった。

(単位：千円) 税抜

区分	経営目標	実績	増減	備考
経常利益	66,000	64,485	△ 1,515	料金収入の減により経常利益は減となったが、修繕費や減価償却費等が減となり、経常収支比率の目標を達成。
経常収支比率	107%	108%	1ポイント	